

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	小ぎく10a、夏ぎく10a、秋ぎく20a、電照ぎく10a、スプレーギク10a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目									親株管理 台・土 △		◎	—————	
2年目				————— 摘心	—————	□ ~ □							

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,055,500	17	509,250	509,250	15	33,950	8	237,650	100	9,506
灌水ポンプ	400ℓ/分	1 台	171,200	17	28,533	28,533	7	4,076	4	12,229	100	489
管理機	3.5ps	1 台	197,400	17	32,900	32,900	7	4,700	4	14,100	100	564
背負式動力噴霧機	20ℓ	1 台	68,780	17	11,463	11,463	7	1,638	4	4,913	100	197
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	281,880	17	46,980	46,980	7	6,712	4	20,134	100	805
トラクタ	4WD 20ps	1 台	1,805,760	17	300,960	300,960	7	42,994	4	128,983	50	2,580
ロータリ	160cm	1 台	475,200	17	79,200	79,200	7	11,314	4	33,943	50	679
畦立てマルチャー	14~25ps	1 台	460,922	25	115,231	115,231	7	16,462	4	49,385	100	1,975
下葉取り機	30~50本/分	1 台	189,288	17	31,548	31,548	8	3,944	4	15,774	100	631
合計			7,816,830		1,341,215	1,341,215		171,569		608,669		21,088

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
きく	風鈴 など	小ぎく (7/中～8/中出荷)	32,000本	排水良好な水田転作畑	10a

項目	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
作業名						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
親株の管理	7～8	油かす	10kg	人力	○採花時に無病の優良株を選び、親株とする(1,200～1,500株)。 ○萌芽を促すため、株元に油かすを10kg/a 施す。		2	8.0	
台刈り・土入れ	8/上～8/中			人力 人力	○地表から3～5cmの高さで台刈りする。 ○土入れは萌芽のところへ丁寧に行う(腐葉土等を用いると発根、発芽がよい)		2	16.0	
かき芽の仮植	9/上～9/中	苦土入りセルカ2号 花子 50%寒冷紗	4kg 4kg 3m×30m	トラクタ・ロータリ 人力 灌水ポンプ	○露地に本ぼ10a あたり60～80㎡の仮植床を作る。 ○発根した芽を手でかき取り、10×10cmの間隔で植え付ける。 ○十分に灌水し、寒冷紗で遮光する。	1 0.5	2.0	8.0	軽油 4.5 ガソリン 0.5
仮植床土壌消毒	10/上	カビクリン 古ビニール	6 kg 100㎡	管理機 土壌消毒機 トラクタ・ロータリ	○ハウス内に本ぼ10a あたり60～80㎡の仮植床を作る。 ○適度な土壌水分状態で処理する。 ○処理後古ビニールで被覆しハウスを閉め切る。 ○消毒後はガスが抜けるまででいいいに耕耘する。	1	1.0	8.0	ガソリン 1.0 軽油 4.5
仮植床準備	10/下～11/上	苦土入りセルカ2号 花子	4kg 4kg	トラクタ・ロータリ	○畦幅80cm 通路50cm	1	1.0	4.0	軽油 4.5
冬至芽仮植	11/中～下			人力	○冬至芽が発生した苗を10cm×10cmの間隔で定植。1,200～1,500株。		2.0	8.0	
親株の摘心	12/上～2/下			人力	○草丈が10cm程度伸長したとき摘心しわき芽を増やす。 ○親株の最終摘心は挿し芽の約25日前。		1.0	8.0	
採穂・挿し芽	3/中～下	オキシベロン液剤 200穴セル成型トレイ メトロミックス350 ポリフィルム 50%寒冷紗	30ml 75～90枚 5～6袋(450%) 3m×11m 3m×11m	人力	○定植予定日の2週間前に挿し芽する。 ○挿し穂の折口にオキシベロン2倍を処理、挿し芽床をポリフィルムで覆い、その上に寒冷紗をかける。		2.0	40.0	
本 圃 準 備	3/中～3/下	堆肥 苦土入りセルカ2号 花子 ミネラル宝素 苦土重焼燐 白黒ダブルマルチ	3 t 100kg 200kg 100kg 60kg 700m 0.03×135	トラクタ・ロータリ マルチャー 灌水ポンプ	○畦幅80～85cm 通路50cm ○灌水を十分ににする。	6.0 1.0	2	14.0	軽油 13.5 ガソリン 2.0 ガソリン 1.0
定 植	4/上～中			人力	○マルチに穴を開ける。 ○条間30～35cm、株間10～15cm 定植苗数12,000本～15,000本/10a		2	48.0	
除 草	4/上～中	トリアリット 乳剤	200ml	背負動噴	○通路に除草剤を散布する。	1.0	2	1.5	ガソリン 1.0
支柱立て・ ネット張り	5/中	フラワーネット 12cm×5目 支柱パイプ 130cm	700m 1,000本	人力	○定植時から草丈30cmまでに行う。 ○フラワーネットは草丈の7割程度の高さに適宜引き上げる。		2	24.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
摘 心	4/中～下			人力	○定植10～15日後、4～5節残して摘心する。		2.0	8.0	
整 枝	5/中～下			人力	○大きさのそろった芽を2～3本に整理する(35,000～36,000本/10a)。		1.0	30.0	
除 草	4/中～8/中			人力	○適宜、手取除草を行う。		2	24.0	
灌 水	7/上～8/中			灌水ポンプ	○乾燥時に適宜灌水する。	4.0	1.0	4.0	ガソリン 4.0
収穫・調製	7/中～8/中	段ボール 輪ゴム クラフトテープ	320箱 16ヶ	軽トラック 下葉取り機 人力	○朝切り・水揚げを励行する。 ○採花時期を厳守する。	20.0	2.0	470.0	ガソリン 20.0 電気 100.0
病虫害防除	通年	ジェイエース粒剤 アルバリン顆粒水溶剤 カスケード乳剤 モスピラン水溶剤 アドマイヤーフロアブル ニッソラン水和剤 DDVP乳剤 ハチハチ乳剤 ジマンダイセンフロアブル ダコニール1000 サプロール乳剤 ストロビーフロアブル	9kg 250g 200ml 35g 310ml 150g 15ml 110ml 390ml 865ml 610ml 510ml	動力噴霧機 軽トラック	○白さび病、アブラムシ類、ダニ類、アザミウマ類が多発するので予防散布を徹底する。	39.0 24.0	2	48.0	ガソリン 56.0 ガソリン 24.0
合 計								771.5	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,024,000	小ざく 生産量①： 32,000 本 単価②： 32 円/本	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,024,000		
生	生産原価	種 苗 費	50,000	
		肥 料 費	55,633	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	46,238	〃
		諸 材 料 費	79,270	〃
		動力光熱費	27,691	
		農 具 費	33,955	機械負担価額×4%
		建物等修繕費	5,093	建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	0	
		雇 用 労 賃	74,320	
		減価償却費⑤	171,569	別表のとおり
		土地改良費	7,999	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	551,767	
費	販売費一般 管理費	出荷資材費	77,951	
		販 売 諸 費	227,200	
		諸税負担金	5,657	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	9,412	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1,629	借入資本利率2%
		小計 (C)	321,849	
経 営 費 (D)	873,617	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	897,390	農 従 労 働 時 間： 678.6 生産管理労働時間 11.7 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,771,007	主産物単位当たり 55 円/1本 注 (E) = (D) + ⑧-④		
自己資本 利子(F)	流動資本利子⑨	31,956	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
	固定資本利子	21,088	利率率4%	
自 作 地 地 代 (G)	10,267			
全算入生産費 (H)	1,834,318	生産物単位当たり 57 円/1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	150,383	時間当たり 218 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	15	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-810,318	注) (K) = ③- (H)		
家族労働報酬 (L)	87,072	時間当たり 126 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-747,007	注) (M) = (I) - ⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
親株の管理																			4.0	2.0	2.0																8.0			
台刈り・土入れ																							10.0	6.0														16.0		
かき芽の仮植																								8.0													8.0			
仮植床土壌消毒																										8.0												8.0		
仮植床準備																												4.0										4.0		
冬至芽仮植																															8.0							8.0		
親株の摘心	2.0		2.0		2.0																															2.0	8.0			
採穂・挿し芽								25.0	15.0																													40.0		
本圃準備									14.0																													14.0		
定植										48.0																												48.0		
除草											1.5																											1.5		
支柱立て・ネット張り													12.0	3.0	3.0	3.0	3.0																					24.0		
摘心											4.0	4.0																										8.0		
整枝													20.0	10.0																								30.0		
除草										8.0		4.0		4.0		4.0		4.0		4.0																		24.0		
灌水										1.0		0.5	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5																	4.0		
収穫・調製																				40.0	230.0	200.0																	470.0	
病虫害防除		1.0		1.0		1.0	1.0		1.0		1.5	1.5	2.0	2.0	3.0	3.0	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	3.0			2.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	1.0		48.0		
																																							0.0	
																																								0.0
計	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	25.0	30.0	48.0	16.0	5.5	6.5	34.5	20.0	6.5	10.5	7.0	12.5	46.5	236.0	213.0	6.0	2.0	8.0	1.0	0.0	9.0	0.0	5.0	0.0	9.0	0.0	1.0	0.0	3.0	771.5			